

# 浜田山しんぶん

愛は決して  
絶えることが  
ありません。  
(聖書)

## 家族関係の回復

浜田山キリスト教会 主任牧師 青山 潤



今から12年前、私の学びのため私たち家族は日本を離れ5年近くアメリカで暮らしました。当時小学生だった娘たちも大きく環境が変わる中、期待や不安の中にいたと思います。一緒に冒険するようになり、壊れそうな車で旅をし、初めて行った町でエンジンがかからなくなったり、貸し出す家の少ない田舎で、住む家を探したこともありました。

現在、上の娘は日本の大学に進み卒業も間近になり、下の娘は昨年アメリカの大学に進みました。こうして子どもたちは自立し、20年ほどの子育てが急に終わりを迎えたような寂しさを感じています。

「人がひとりであるのは良くない」

(聖書・創世記2章18節)  
神はこう語り、その助け手を人に与えました。この助け手は特に配偶者(妻)を指していますが、私たちは誰かとしてかきと関わりを持ち、愛し愛されて生きるように、神に造られたことをこの言葉は示しています。

同時に、そのあるべき姿に生きることの出来ない人間の現実をも聖書は示しています。

助け手である妻エバを備えられ、祝福の中にあった夫婦でしたが、彼らはあるとき自分の欲望に負けて神の命令に逆らひ、その結果、夫婦は仕え愛し合う関係から互いを支配しようとする関係となり、親子兄弟を含めた家族関係は崩れてしまいました。このことは長男カインが次男アベルをねたみ殺すところにまで発展して行きます(創世記4章)。

後の時代、イスラエルにダビデという王がいました。ダビデは神を信頼し愛し、神もダビデを祝福しました。しかしあるとき、ダビデはその欲望によって部下の妻だったバテシエバと関係を持ち、そのことが公になることを恐れ、バテシエバの夫ウリヤを殺してしまいました。「殺してはならない」「姦淫してはならない」「隣人の妻を欲しがってはならない」という彼も良く知っていたはずの神の命令に完全に背いてしまいました。

ダビデは指摘されたとき罪を認めましたが、このこともまた自分の子どもがその兄弟を殺すまでに影響を及ぼしていきま(第二サムエル記13章)。

その経緯を簡単に紹介します。

ダビデには複数の妻がいました。妻の一人アヒノアムとの間の息子アムノン、異母姉妹であるタマルに恋をし、強引に関係をもち彼女を辱めます。ところが関係をもち、アムノンはタマルを憎み、追い出してしまいます。タマルの兄アブシャロムはこのことでアムノンを憎みますが、父であるダビデはかつて自分が犯した罪の負目のためにアムノンに向き

合うことが出来ず、これを曖昧にしています。

それから2年後アブシャロムは計画を立て、アムノンを殺してしまいました。このアブシャロムに対してはダビデは向き合うことを避けました。そのため、ついにアブシャロムからその王位を奪われ、命まで狙われます。その後、アブシャロムの計画は失敗し、戦死を遂げます。ダビデは王位を回復しますが、アブシャロムを失った悲しみに暮れました。

愛し合うべき家族が自らの愚かさのために憎み合い、傷つけあう。

これは遠い昔の出来事、あるいは遠い国の戦争というだけでなく、私たちの身近にある人間関係ではないでしょうか。神が愛し合うように造った人間、そして家族が、その本来の在り方から離れてしまったのは、人が神から離れ、神の命令を無視し、自分の願うように好き勝手に生きた結果だと聖書は伝えています。人のあるべき姿に、再び、愛し愛される関係に回復を与えるために、神はこの世界にイエス・キリストを送りました。

イエスは私たちと神との関係を回復し、また人と人との関係を回復させるためにこの世界にきて、その関係の架け橋として、十字架につき死にました。また、これらのことの証拠として、死んで三日後に復活しました。

このイエスが用意した架け橋に進み、すべての関係があるべき祝福の姿に回復することを祈ります。

### クロスロード

浜田山駅、上りホームの中ほどに浜田山キリスト教会の看板があります。

そこに書かれているのは「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」という聖書の言葉で「招きの言葉」と言われています。

以前の私は、その文言を見るたびに「クイックマッサージかよ」と、心の中で毎回ツッコミを入れていました。クイックマッサージは手軽にリフレッシュできる良いツールの一つです。しかし当時の私はそれでは癒されない深いストレスを抱えていました。

その後ひょんなことから聖書を勉強することになり、看板にあった浜田山キリスト教会に連絡すると、当時の伝道師が夜の時間に聖書を読むのを手伝ってくれました。

聖書を読んでいると、キリストの弟子でさえ不信心な言動をしているところが幾度となく出てきます。私はそれが普通の反応に思え、彼らを身近に感じました。

私がクリスチャンになったのは聖書を勉強したからではなく「信じる心」がプレゼントされたからです。それは神様の愛と赦しによるものです。そしてこのプレゼントによって看板の言葉も全く違うものになりました。

今は看板を見てもツッコミは入ませんが、このように証しの機会が与えられた事を思うと、神様は私のツッコミを喜んでくれたのかもしれない。

江藤富士子

### 『海嶺』上映会

4月9日(日)  
午後1時半～3時半

教会にて  
三浦綾子原作『海嶺』の  
上映会を行います。



#### 【あらすじ】

江戸時代末期、嵐によって漂流し、アメリカに渡った3人の若者が、帰国を願いながら異国人の愛によって救出されたノンフィクション。

【出演】西郷輝彦、竹下景子、田村高廣、他  
入場無料です。詳細は教会までお問い合わせください。

入場  
無料

### ハンドメイド カフェの楽しみ

永野美奈

我が家の近くにある浜田山教会の存在は、前から知っていましたが、長らく、縁もゆかりもない場所でした。定年になり、寂しい老夫婦だけの生活のある日、新聞に折り込まれた「浜田山しんぶん」で、ハンドメイド・カフェという「手作りの会」を知りました。

“気晴らし”という軽い気持ちで教会の門をたたき、参加するようになりました。

マクラメのペンダント、ビーズのブローチ、指輪型の針刺しなど、作ったことのない物を教会の方から丁寧に教えていただき、手作りする楽しみを知りました。

私のような一般人も教会の方も一緒になって、おしゃべりをし、美味しいお菓子をいただくお茶の時間も、とても楽しい癒しの時間となっていきました。

コロナ禍の2年間集えない時も、毎月お便りが届き、マスクチェーンなどの制作キットがついていた、料理レシピや聖書の言葉など盛り沢山で、寂しく不安な時も乗り切れました。

信仰の勧めや礼拝の参加を呼び掛けられたことは一度もありません。会の最後に青山牧師の聖書のお話を聞いて、少しずつ関心が深まり、自然に日曜礼拝に通うようになりました。私にとってハンドメイド・カフェは、神様から多くの幸せや恵みをいただいている事を知るきっかけとなりました。

# イエス・キリストの復活は本当か？



平山 澄江

新約聖書の中でパウロは、「キリストが復活されなかったのなら、私たちの宣教は実質のないものになり、あなたがたの信仰も実質のないものになるのです」と述べ、復活こそがキリスト教の重要な土台だと言っています。

「イエスが復活した」と聞くと、多くの人は「十字架にかかったのは事実だとしても、死んだ人が生き返るなんてありえない」と言います。かつては私もそう思っていました。

聖書を読むと、驚いたことにイエスの弟子たちも、イエスを慕っていた女たちも、はじめは信じていなかったのです。

イエス復活の様子について聖書はどのように記しています。

イエスは十字架にかかる前に何度も、「人の子は、罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえる」と弟子たちに話していました。けれど、十字架が現実になったとき、



イエスのことばはどこかに行ってしまう、弟子たちは、ただ自分たちの身の安全のために隠れていました。女たちも、イエスが復活するとは思っておらず、イエスの遺体を清め、香料を塗るために日曜日の早朝、墓に

出かけて行きました。墓に着いてみると、入り口の石は転がされ、墓は開いていました。中をのぞくと、イエスの遺体がありません。ただからだを包んでいた布だけが、まるで中身がすっと消えたみたい、そのままの形で残されていました。

すると御使いが現れ、「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に探すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。いつも言っていたとおりです。」

それでもまだ信じられないでいると、イエスご自身が彼女たちの前に姿を現されました。

復活の主に会って大喜びの女たちに、イエスは「行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです」と告げると、姿が見えなくなりました。

女たちは走って行って弟子たちに、「主はよみがえった。私たちは主に会った。ガリラヤに行こう」と話しました。けれど彼らは「たわごとだ」と言って、だれも信じません。復活などあり得ないと思っていたからです。

その日の夕方、弟子たちがいた家にイエスが入って来られ、「平安があな

たがたにあるように」と言って、その手とわき腹を見せました。事実を前にしては信じるも信じないもありません。弟子たちはようやく、イエスのことば通り、本当によみがえったと分かったのです。

イエスの死で希望を失っていた弟子たち、せめて傷だらけのからだを清めて差し上げたいと墓に行った女たち、手やわき腹の刺し傷に指を入れるまでは決して信じないと言ったトマス、三回もイエスを否認してイエスに顔を合わせられなかったペテロ。どの人物をとっても「自分もきつと同じことをするだろう」と思えてなりません。

それと同時に、そのような失敗を決して叱らず、一人ひとりにねんごろに接してくださるイエスの愛の深さに、私は心を打たれるのです。

先日、ある勉強会で「アンコンシャス・バイアス」ということばを聞きま

した。心理学の概念で「無意識の思い込み」を指す言葉で、最近では企業の社員研修でもよく取り上げられているそうです。

聖書にはイエスの復活の他にも、あり得ないと思うような奇蹟がたくさん書かれています。それは本当にあり得ないのか、私たちの心にもバイアスがかっていないか、自分の「思い込み」をひたすら脇において、聖書を読んでみませんか。



た公園で行う日が来ることを心から待ち望んでいます。

イエス・キリストの復活を感謝して行うエッグハントですが、キリスト教と卵は直接の関係はありません。イースターエッグは、ひよこが卵の殻を破って誕生してくるように、イエス・キリストが、死という殻を破って復活したことを象徴しています。

ちなみに、イースターは毎年日にちが変わります。春分の日を過ぎた最初の満月のすぐ後の日曜日と決められています。今年は4月9日になります。

イースターは十字架にかかって死んでくださったイエス・キリストが、復活したことを祝う日です。教会学校では、隠されたイースターエッグを見つける「エッグハント」を行います。以前は公園で行っていました。草や木の枝の陰に隠された卵を、大人に手を引かれた幼児や、元気に駆け回る小学生で探し回ります。時にはカラスが参加することもありましたが、「どこにあるかな?」「みつけた!」「もっとあるかな?」と、とてもにぎやかでした。新型コロナの影響で、今は教会で行っていますが、ま

## ● 集会案内

日曜日

◆ 主日礼拝 10:30 ~ 11:45

赤ちゃんからお年寄りまで一緒に、オルガン、ピアノに合わせて讃美歌を歌い、祈り、牧師のメッセージを聞きます。

◆ 教会学校 11:45 ~ 12:30

未就園児から高校生まで、それぞれの年代に合わせて神様のことを学びます。

◆ 成人クラス 11:45 ~ 12:30

新来会者のためのクラス、今さらクラス、ハイデルベルク信仰問答を学ぶクラスなどがあります。

◆ ポーイヌカウト(午後)

杉並9団として近くの公園など、教会内外で活動しています。

その他の曜日

◆ 聖書の学びと祈り

(水曜日の夜、木曜日の午前、金曜日の早朝) 聖書を読み、身近な家族や友人、教会のために共に祈ります。

◆ 初めての聖書の会(毎月1回 火曜日の午後)

お茶とお菓子を食べながら和やかな雰囲気の中で聖書を学びます。

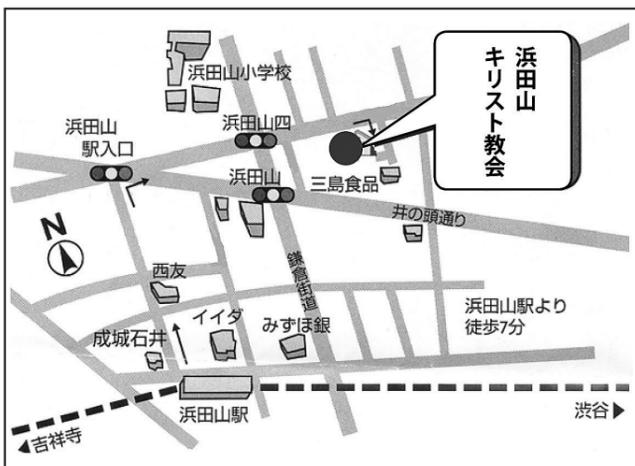
◆ ハンドメイド・カフェ(毎月1回 金曜日)

◆ 小羊会(不定期)

◆ ベレア会(毎月2回 水曜日)

◆ オリーブ会(毎月2回 水曜日)

どの集会も参加自由です。詳しくは浜田山教会に直接お電話下さるか、HPをご覧ください。



TEL 03-3313-7177  
HP <https://hamadayama.jesus.jp>

